



●選定相談（アセスメント）

ケアマネジャーからの依頼にもとづき、ご利用者宅を訪問します。

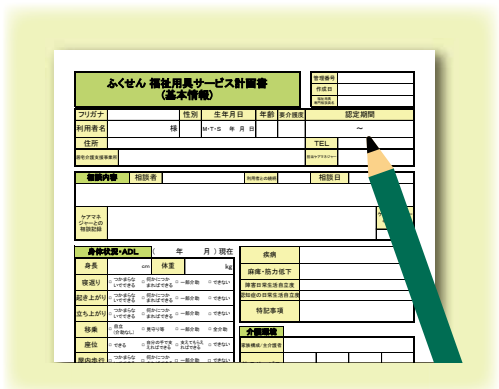
まずはご利用者の身体の状態（疾病など）、住居環境、希望する福祉用具などを把握することから始まります。ご利用者がどのような生活を望まれているか、またどのようなことにお困りか、しっかりと話を伺うことが重要なポイントとなります。



●計画作成（プランニング）

ご利用者からのご相談内容にもとづき、福祉用具の利用計画（具体的なサービス内容）を計画書に記載します。

計画書を作成する際、ご利用者の基本情報（氏名、年齢、性別、要介護度等）、福祉用具が必要な理由、理由目標を把握することは非常に重要です。そのうえで具体的な福祉用具の機種と当該機種を選定した理由を計画書に記載します。



●納入

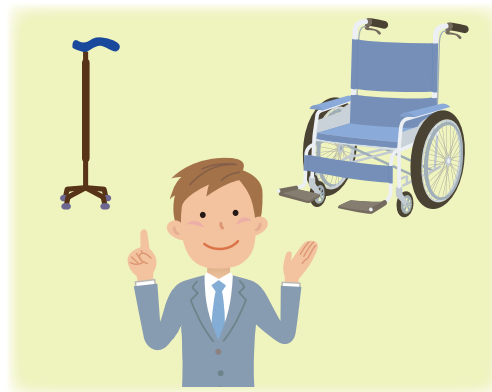
計画書にもとづいた福祉用具をご利用者宅に納入し、お身体の状態や使用環境に合わせて、福祉用具の調整を行います。



●取扱説明

福祉用具を安全にかつ有効にお使い頂けるよう、取扱いについてご説明します。

実際にご使用頂き、分からないことや不安なことがないかなど、十分に確認する必要があります。取扱いのご説明については、最初の一度だけでなく、必要に応じて何度でも行います。



●訪問確認 (モニタリング)

ご利用者宅を定期的に訪問し、ご利用状況に問題がないかを確認します。

使用状況の確認や、心身状態・生活環境に変化がないか、福祉用具に異常がないかなど確認・点検を行います。状況に応じて、ご利用中の福祉用具の交換等を行う場合もあります。

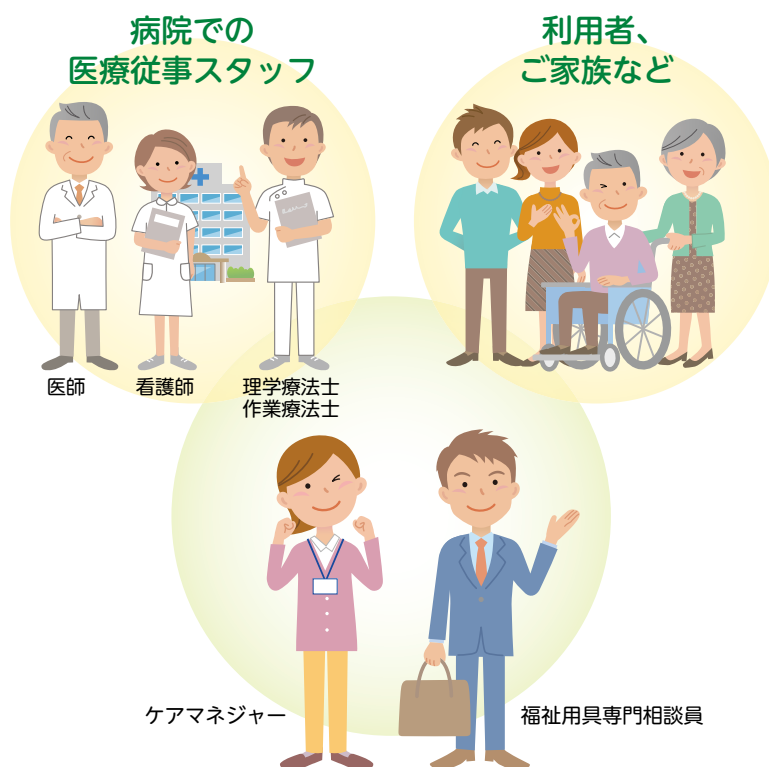


●他職種との連携

モニタリングにより見つかった不具合や、利用者・家族からの要望、利用状況の変化などを、ケアマネジャーへ報告します。

福祉用具の再検討が必要な際には、サービス担当者会議に出席し、見直しの検討にも参加します。様々な専門職と情報を共有し連携を図るのも、福祉用具専門相談員の大切な役割です。

退院時には、作業療法士(OT)や理学療法士(PT)などとも連携します。



福祉用具専門相談員の やりがいとは…

実際に伺ってみました！

やはり**ご利用者とその介護者の方**に大変喜ばれるということです。ご利用者が困っていることを正しく理解し、自分の提案によって困りごとが解決できたとき、自然と「ありがとう」「助かった」といった声をかけてもらえるようになります。(Mさん)



福祉用具をお使い頂き、目の前の方が喜んで下さることで、もっと頑張ろうという気持ちになりますし、**自分が世の中の役に立っている実感を味わう**ことができるのが、この仕事の魅力だと思います。(Iさん)

自分の提案やお持ちした福祉用具により、ご利用者様やご家族に喜んで頂ければ、自分自身もとても嬉しいですし、もっと何かできないだろうかと、モチベーションが高まります。**福祉用具が効果を発揮しご利用者の生活の質が上がった時、とてもやりがいを感じます。**(Aさん)

最初の頃はご利用者やご家族と少し距離があり、どのように関係を築いていけばいいか悩むこともありましたが、定期的な訪問により徐々に信頼を得られるようになりました。今では、ご利用者から色々ご相談を頂くことも多いです。**ご利用者と長きにわたって顔が見えるお付き合い**ができることは、この仕事ならではの喜びだと思います。(Nさん)

ケアマネジャーさんから、福祉用具の選定についてアドバイスを求められたり、相談を受けたりする時は、「福祉用具専門相談員」として、とてもやりがいを感じます。信頼して頂いていることを実感しますし誇りに思います。**責任も重大ですから、福祉用具のプロとして更にスキルを磨いていこう**と思います。(Kさん)

いかがでしたか・・・

皆さん、やはり一番のやりがいは、「お客様であるサービスご利用者や、その家族の方に喜んで頂くこと」だとお話されています。

福祉用具専門相談員の仕事に興味を持たれた方、まずはお住まいの地域の、福祉用具供給事業所のホームページを覗いてみませんか。

当協会では、会員となっております全国各地の福祉用具供給事業者をご紹介します。

<https://www.fukushiyogu.or.jp/jigyo/jigyo.html>